

**製品名: PP1C ベータウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02465**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.54mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 37 kDa; Observed MW: 37 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PPP1CB
別名	PPP1CB; Serine/threonine-protein phosphatase PP1-beta catalytic subunit; PP-1B; PPP1CD
遺伝子 ID	5500
SwissProt ID	P62140
免疫原	ヒトタンパク質ホスファターゼ 1β の合成ペプチド

**背景**

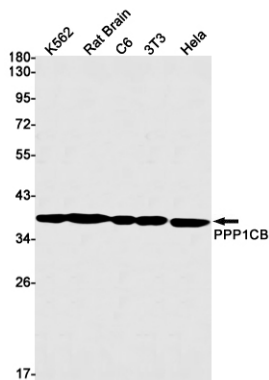
200種類以上の調節タンパク質と会合して、数百もの生物学的標的を脱リン酸化するための高度に特異的なホロ酵素を形成するタン

パク質ホスファターゼ。タンパク質ホスファターゼ (PP1) は細胞分裂に必須であり、グリコーゲン代謝、筋収縮、タンパク質合成の調節に関与する。

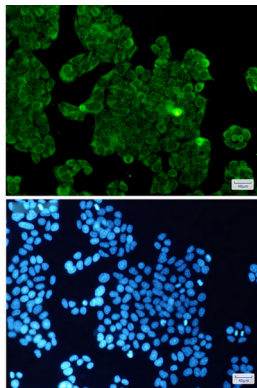
## 研究分野

細胞生物学

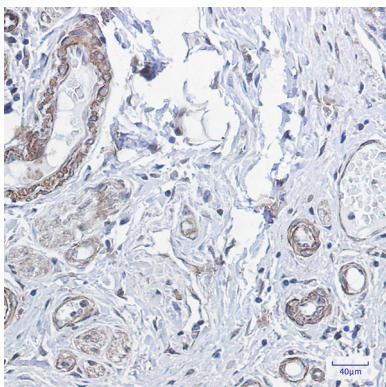
## 画像データ



PP1C ベータ抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の PPP1CB のウエスタンブロット分析。



PPP1CB 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の PPP1CB (緑) の免疫細胞化学分析



PPP1CB 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高压高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。